



浜田ダム再開発工事

平成27年10月1日発行

第3号

■JVあいさつ（工事現況）

平素より地域の皆様には大変お世話になっております。8月は減勢工下流側の発破作業で交通規制を行いましたが、ご協力いただきましてありがとうございました。

浜田ダム再開発工事は、今年の10月上旬から始まる第二浜田ダム試験湛水に向けて、減勢工下流側の護床工事と減勢工法面工事を鋭意進めています。

10月9日から浜田ダムのクレストゲート撤去工事がスタートします。10月8日にダム天端構台上で大型の100tクローラクレーンを組立て、このクレーンを使って撤去工事を進めます。100tクレーンは今後約4年間、この場所で継続して活躍することになります。

今後も地域の皆様にはご不便をかけることもあるかもしれませんが、安全に留意し工事を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

■工事の進捗状況



④減勢工



③ダム上流面



①ダム下流面



②ダム下流面2

【前号と比べて】

- ①：ほとんど変わりません。
- ②：10月から始まる第二浜田ダムの試験湛水では、一時的に図示の高さまで水没します。
- ③：湖岸の緑が増えてきました。
- ④：減勢工の下流側でコンクリート工事、右岸法面でモルタル吹付工事を行っています。

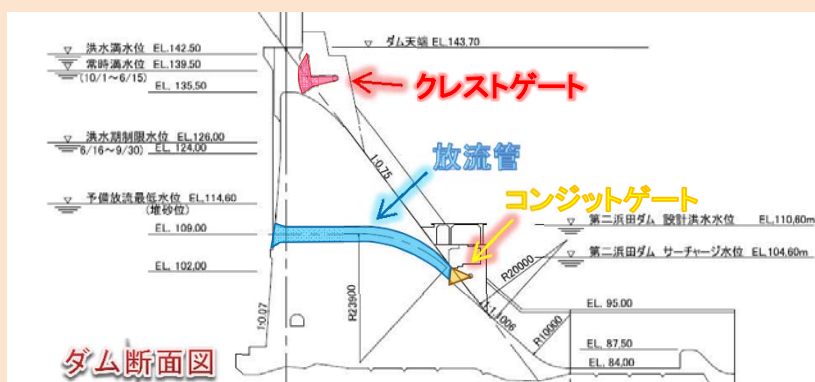
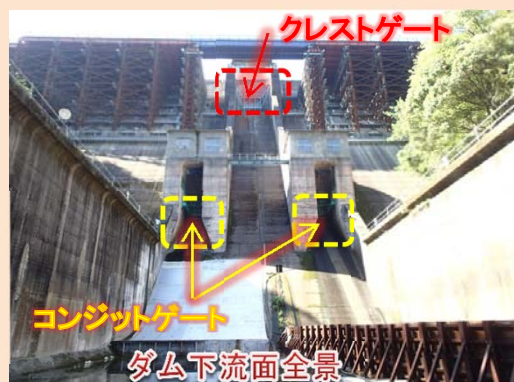
■工事トピックス

『コンジットゲートとクレストゲート』

浜田ダムは洪水調節と発電を目的に建設され、1963年(昭和38年)に完成しました。それ以降、浜田市中心部・浜田川沿いの地域を浸水被害から守ってきました。

洪水調節はコンジットゲート2門とクレストゲート1門の操作によって行われています。ダムの中間よりやや低い位置にダムの上流から下流に貫通する鉄製の放流管が埋設されています。この放流管の出口にコンジットゲートがあります。雨が降ってダムに沢山の水が流れ込んできても、コンジットゲートがダム下流に流す量を調節してくれるので、ダム下流を水害から守ってくれます。クレストゲートはダムの頂部にあります。コンジットゲートだけでは調節できない大洪水が発生した場合、貯水位が上がっていきませんが、最後の砦として水害から守ってくれます。

第二浜田ダムの試験湛水開始後は、浜田ダムのこれらのゲートは役目を終えて撤去されます。近年の異常気象にともない全国的に洪水被害が報道されていますが、ここ浜田ではふたつのダムが一体となって、より治水安全度の高い洪水調節機能を発揮することになります。



『ダムカード』

皆さん、ダムカードをご存知でしょうか。国土交通省と水資源機構の管理するダムのほか、一部の都道府県等の管理するダムの管理事務所等で無料配布されています。

ダムの形式や貯水池の容量・ダムを建設したときの技術、といった基本的な情報からちょっとマニアックな情報までを凝縮して載せています。

浜田ダムにもダムカードがありますが、10月末で管理所閉所となるため、残念ながら10月4日で配布終了となりました。島根県のダムカード情報は下記ホームページで確認できます。
<http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/dam/card/>



通行規制のお知らせ(10月中旬以降)

浜田ダム天端道路付近で大型クレーンを使った工事を行います。安全確保のため、ダム天端下流側に設置した仮設構台上を通行していただきます。交通誘導員がいますので案内に従って下さい。規制の有無については現地看板に表示します。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

■日時	平成27年10月15日(木)~16日(金)の8:30~17:00, および平成27年11月中旬以降予定
■場所	浜田ダム天端道路
■規制	現在通行の天端道路を通行禁止とし、ダム天端下流側の仮設構台上に迂回

発行・お問い合わせ先

鹿島・フクダ・祥洋特別共同企業体 浜田ダム再開発工事事務所 HPアドレス <http://renew-hamadadam.jp/>

〒697-0011 浜田市後野町2246-31(第二浜田ダムJV事務所内) TEL.0855-25-5356 FAX.0855-25-0077